

当院受診の患者さんおよびご家族の方へ

当院では水頭症と診断されV-Pシャント術を施行された患者さんのデータを後方視的に検討しています。

本研究では2018年1月1日から2024年8月31日の間に当院で水頭症と診断され、V-Pシャント術を施行された患者さんを対象とします。診療録から臨床データを抽出し、後方視的に治療成績、治療の有効性、安全性などを検討、解析します。（後方視的研究とは過去のデータに基づいて行われる研究です。）その結果を学会等で発表し、論文発表を予定しています。このデータを利用した研究計画は、倫理委員会*が科学的倫理的に適切な計画であるかどうかを公正に審査しています。

V-Pシャント術は水頭症に対する一般的な外科的治療法の一つですが、その穿刺手技は古典的な解剖学的知識と術者個人の技術の習熟を頼りに施行されてきました。しかし近年は新たな医療技術として術中ナビゲーションの導入が進められており、V-Pシャント術における導入の試みも行われております。その成果を解析することで従来よりもより安全かつ確かな手術を行う上でのナビゲーションの有用性が示されることが期待されます。その結果今後の水頭症手術のさらなる発展につながる予定です。

皆様方の診療データは匿名化しますので対象者が特定される個人情報は一切使用いたしません。個人情報の安全管理と保護には万全を期しますので、どうかこの研究へのご理解をお願いいたします。

なお、この研究に診療データを提供したくない方、またはこの研究の実施方法や内容について詳しくお知りになりたい方は、お手数ですが、下記のスタッフまでご連絡ください。ご協力いただけない場合でも、当院での診療に関して不利益をこうむることは一切ありませんので、どうぞご安心ください。

*「倫理委員会」とは、その医学研究が科学的倫理的に問題ないかどうかを公正に審議する委員会で、委員には医学・医療の専門家等の自然科学の有識者、倫理学・法律学の専門家等の人文・社会科学の有識者、研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者、倫理委員会の設置者の所属機関に所属しない者などが含まれています。

（医療機関名）

福岡赤十字病院

（研究責任者、情報管理者名）

脳神経外科 湧田 尚樹